

「道徳の時間」学習指導案

三次市立甲奴中学校
教諭 山下 國人 長内 三和子 春木 祐介

1 学年 第2学年 男子13名 女子15名 計28名

2 主題名 誠実に生きる（内容項目1－（3））

3 本時のねらい

自己の責任を感じて、心を尽くし償おうとする主人公の生き方を通して、自らも誠実に生きようとする心情を育てる。

4 資料名 「償い」 かけがえのないきみだから 学研

5 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について

本主題は中学校学習指導要領内容項目1－（3）「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。」を基に設定した。

私たちは日々、大小の差こそあれ、いろいろな過ちを犯しながら生きている。自分の言動に注意していても時には選択を誤ったり、悪意は無くとも人を傷つけてしまったりする。そんな時、逃げたり、ごまかしたりするのではなく、自分の過ちと正面から向き合い、誠実になることで誇りを取り戻し、堂々と生きていけるようになることは大切である。学校や家庭生活において「ごめんなさい」と言えば、それで済むのではなく、心を尽くして謝罪し、その後もその反省を生かして生活を改めていくことが大切である。そのことが自分や社会に対して誠実で、人間として責任ある行動につながることに気付かせたいと考え、本主題を設定した。

（2）生徒観

本学級の生徒は、明るく素直で、学級活動や学校行事、生徒会活動等においても積極的に参加しようとする生徒が多い。全体的にも周りの人に配慮した行動できるようになってきている。しかし、入学時からそのような落ち着いた学級集団であった訳ではなく、様々な人間関係のトラブルを乗り越え現在の状況に至っており、2年時になっても同様、様々な失敗を繰り返しながら成長している。その中ですべての生徒が、自らが犯した失敗を忘れることなく、自分の課題として真摯に受け止め、その反省を生かして生活を改めているとは言い難い。「謝ったからもういい。」「あれは終わったこと。」として、また同じような過ちを繰り返してしまう可能性もある。

自分の失敗を見つめ、傷つけてしまった相手に対し真摯に謝罪し、その後の生活の中で反省の意を示していくことの難しさや大切さを実感させる必要がある。

（3）資料の概要

本資料は交通事故で人を死なせてしまった「ゆうちゃん」が、その償いに毎月被害者の妻に送金をし続け、7年目のある日、彼女から毎月の送金をやめて、「あなたの人生を生きて下さい。」という趣旨の手紙が届くという内容である。

「人殺し。あんたを許さない。」と言っていた被害者の妻が「ありがとう。あなたの気持ちはよくわかりました。」と書けるまでに7年間かかったことから、人を許すことの難しさ、また、彼女にその手紙を書かせたのは、謝罪の気持ちを受け入れられなくても誠実に償い続ける主人公の姿であったことから、心を尽くして誠実に生きる大切さを感じ取らせたい。

（4）指導上の工夫

導入では生徒全員に対して「これまで相手を傷つけてしまったことや、謝罪をしたことがあるか。」と問い、自らの謝罪の経験を想起させておく。

展開における対話活動では、「奥さんはゆうちゃんを本当に許せたのだろうか。」という発問をし、まずは、被害者の奥さんの気持ちを見つめさせる。発問に対する自分の判断をさせた後、「対話活動Ⅰ（聴き対話）」で、ペアで互いに「問いかけシート」を活用しながら、その判断に対する理由を明確にもたせる。次にグループで「対話活動Ⅱ（深め対話）」を行い、4人の班員の意見を比較・検討し、自分たちで疑問点を「問い」ながら議論を深めていく。また、教師が各グループの議論の方向性を把握し、それに合った「切り返しの問い」をすることで、より深くねらいにせまる議論を展開させたい。「対話活動Ⅲ（高め対話）」では、「許せた」と判断した生徒、「許せていない」と判断した両方の生徒の意見を聞きながら、「あんたを許さない。」と言っていた妻が「ありがとう。」で始まる手紙を書いたことに焦点を当て、「なぜ、このような手紙がかけたのか。」を中心発問として考えを深めていく。ゆうちゃんの7年間の誠実な行動が奥さんの心の変化をもたらした様から、過ちを犯し、謝罪した後の生き方が大切であること気付かせ、「対話活動Ⅳ（見つけ対話）」で、その価値観を基に、最後に自分と向き合う時間を確保し、ねらいにせまらせる。

6 学習の流れ

過程	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応 (◎中心発問)	指導上の留意点 (◇) 評価 (☆)
導入	1 これまでの経験の中で、人に謝ったことはあるか想起する。	○これまで相手に対して悪かったなど思うことや、謝った経験はありますか。	◇内容については発表させない。 過去の辛い経験を思い出して暗い雰囲気にならないように気をつける。
展開	<p>2 資料「償い」を読んで話し合う。</p> <p>(1) 主人公が送金を続ける理由を考える。</p> <p>(2) 「奥さん」が本当に許せたのかどうか、その判断と理由をを考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">自己内対話① ワークシート①に記入</div> <p>(3) ペアで対話活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>対話活動 I (ペアで) 「聴き対話」</p> <p>ペアで「問いかけ」ながら、それぞれの意見と理由を明確にしていく。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px 0;">自己内対話② ワークシート②に記入</div>	<p>○教師が範読する。</p> <p>○ゆうちゃんは法的にはもう罪を償っているのに、仕送りを続けたのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝罪の気持ちを伝えなかった。 ・自分の気持ちがおさまらないから。 <p>○奥さんは本当にゆうちゃんを許せたのだろうか。</p> <p>(許せた)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>予想される対話</p> <p>Q: どう思う? A: 許せたと思う。</p> <p>Q: なんて?</p> <p>A: もう送金をやめて、あなたの人生をもとに戻してくれと言っているから。</p> <p>Q: 旦那さんが亡くなったの?</p> <p>A: わざとじゃないし、十分あやまっている。</p> <p>Q: なんで今になって許したの?</p> <p>A: 7年間、毎月欠かさず送金してくれたから気持ちが伝わった。</p> </div> <p>(許せてはいない)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>予想される対話</p> <p>Q: どう思う? A: 許せないと思う。</p> <p>Q: どうして?</p> <p>A: どんなに謝られても、死んだ人は戻ってこないから。</p> <p>Q: なんで手紙を書いたの?</p> <p>A: もういいと思ったから。</p> <p>Q: もういいって?</p> <p>A: 事故のことを思い出すから、送金をやめてほしいと思った。</p> </div> <p>予想される記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7年間も仕送りと続けてくれたから、もう十分だと思った。 ・わざとではないし、謝罪の気持ちは伝わった。 ・どんなに謝っても死んだ人は戻ってこないから。 ・手紙は、事故の辛い思い出を終わらせるために書いた。 	<p>◇さだまさしさんの映像を電子黒板で示す。</p> <p>◇自分の判断と理由をワークシートに書かせることで、対話活動へ備えさせる。</p> <p>◇「問いかけシート」を使って、互いの意見の理由を聞き合うことで、自分の考えをより明確にさせ、グループ対話への意欲につなげる。</p> <p>◇ワークシートに書かせることで、自分の考えを整理させ、グループ対話へ備えさせる。</p>

<p>(4) 4人班で対話活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>対話活動Ⅱ(グループで) 「深め対話」 意見を出し合い、比較・検討しながら、新たな「問いかけ」をし、議論を深める。</p> </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自己内対話③ ワークシート③に記入</p> </div> <p>(5) 全体で対話活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>対話活動Ⅲ(全体で) 「高め対話」 互いの最終判断の理由を聞きながら、高い価値観に気付く。</p> </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">↓</div> <p>3 曲を聞く</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>予想される対話 Q：どう思う？ A：7年間も仕送りしてくれたので、許せたと思う。 Q：どうして仕送りしたら許せる？ A：しなくてもいい仕送りをするのは、少しでも謝罪の気持ちを伝えたいという思いの表れだから。 A：わたしは家族が殺されたことは絶対許せないと思う。もう送金を止めて欲しかったんだと思う。字を見るだけで、辛いと思う。 Q：じゃあ、もしゆうちゃんが送金してなかったら、奥さんはどう思うだろう？ A：一人で苦しみ続けたんじゃないかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>予想される記述 ・7年間、ゆうちゃんは十分償った。 ・償いたいという気持ちは十分に伝わった。 ・もうこれ以上自分の生活を犠牲にして欲しくないと思った。 ・やはり、大切な家族を失ったことは、絶対に許せない。 ・悲しみは消えることはないが、償いの気持ちは認める。 ・家族を死なせたことは許せないが、ゆうちゃんの気持ちは受け止めた。</p> </div> <p>◎「人殺し。あんたを許さない」と言った奥さんが、なぜ「ありがとう、あなたの気持ちはわかりました。」という手紙を書けたのだろう。 ・ゆうちゃんが7年も自分の生活を犠牲にしてまで償ってきた気持ちは伝わった。 ・そこまでしてくれたことに感謝している。 ・ゆうちゃんの必死に償う態度が奥さんの憎しみの心を感謝に変えた。 ・一生償っても許されることではないが、ゆうちゃんの誠意は7年間の行動から十分理解できた。 ・何年たっても悲しみは消えないが、ゆうちゃんの奥さんを思うやさしさがしっかり伝わった。 ・自分も少しずつ立ち直っているのだから、これまで償い続けてくれたゆうちゃんにも前に進んでほしかった。</p>	<p>◇新たな「問い」を作りながら議論させることで、内容を深めていく。</p> <p>◇「許せた」と考える生徒には事故直後の「あんたを許さない。」という言葉に着目させ、「許せていない」と考える生徒には手紙の「ありがとう。」という言葉に着目させた切り返しの問いをし、議論を深める。</p> <p>◇ワークシートに最終判断を書かせることで、これまでの議論を生かした自己内対話を促す。</p> <p>◇全体の場で、奥さんの心を変えたゆうちゃんの生き方を再度見つめることで、「誠実に生きる」とはどういうことなのか全員に考えさせる。</p> <p>◇電子黒板で映像と曲を流す。</p>
<p>展開後段</p> <p>4 振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>対話活動Ⅳ 「見つけ対話」 学んだ道徳的価値をもとに、自分に問いかけ、振り返る。</p> </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>自己内対話④ ワークシート④に記入</p> </div> <p>5 シェアリングをする。</p>	<p>○今日考えたことで大切なことは何だと思えましたか。そして自分を振り返ってください。 ・間違いを犯してしまったとき、本当に心をこめて謝ることが大切だと思った。 ・謝った後もずっと償い続けることが大切だと思った。 ・謝った後の生き方が大切だと分かった。 ・自分も謝ったことはあるけど、それで終わりだと思ってしまうていた。 ・謝った後も、その人が居ないところでもちゃんと生き方を変えられる人になりたい。</p>	<p>◇ワークシートに、書かせることで、自分がこれまでの失敗に対して誠実に反省して改めてきたかを、見つめさせ、今後のへの道徳的実践につなげる。</p> <p>☆「誠実に生きること」について道徳的価値の自覚への深まりがみられるか。</p>
<p>終末</p> <p>6 教師の説話を聞く。</p>	<p>○みんなと一緒に考えながら、かつて自分が人を深く傷つけてしまい謝罪した経験</p>	

を思い出した。その後の私の行動が反省の意を相手に伝えられるものだったのか、今でも考えている。

- ・謝罪は言葉だけではだめなんだ。
- ・誠意が伝わる行動が大切なんだな。

7 板書計画

7年間

「償い」

ゆうちゃん
交通事故・・・
たった一度の哀しい誤ち

人殺し。あんたを許さない。

何もかも忘れて働いて働いて
↓
毎月奥さんに仕送り

ゆうちゃんが仕送りを続けたのはなぜだろう

- ・謝罪の気持ちを伝えなかった。
- ・自分の気持ちがおさまらなかった。
- ・自分ができるとはそれくらいしかなかった。

奥さんは、ゆうちゃんを本当に許せたのだろうか

許せた

- ・十分に償った。
- ・気持ちは伝わった。
- ・もうこれ以上自分の人生を犠牲にして欲しくない。

許せてはいない

- ・どんなに償っても、なくなった命は返ってこない。
- ・気持ちは受け止めるが、悲しみは消えることは無い。
- ・許せないが、事故のことは終わりにしたい。

なぜ奥さんはこのような手紙を書けたのか。

- ・罪は許せないけど、ゆうちゃんの償いの気持ちは伝わった。
- ・7年間、精一杯償いの気持ちを生き方で示した。
- ・自分のことを犠牲にして償い続けた態度。

ありがとう あなたの優しい気持ちはよくわかりました。だからどうぞ送金はやめて下さい。あなたの文字を見る度に主人を思い出して辛いのです。

あなたの気持ちは分かるけど、それよりどうかもうあなた自身的人生をもとに戻してあげて欲しい。

道徳ワークシート

「償い」

氏名 _____

①自分の判断を書こう

許せた
許せてはいない

(ペア対話メモ)

②ペア対話をふまえた、自分の判断と理由

許せた
許せてはいない

(グループ対話メモ)
心に響いた言葉・深く考えた問い

③グループ対話をふまえて、自分の意見と理由を書こう。

許せた
許せてはいない

④今日、学んだことをもとに、自分自身に問いかけてみよう。

○大切なことは、何だろう？

○これまでの自分、これからの自分